

文化顧問の設置について

予算額 4,700千円
(所管課)文化政策課

目的

文化芸術には、人に楽しさや感動、心の安らぎや生きる希望をもたらし、想像力や感性を養い、豊かな人間性を育む力がある。

このような文化芸術が持つ多様な魅力と創造性をまちづくりにいかすとともに、市民が身近に文化芸術に親しめるまちづくりを進めるため、文化顧問を設置し、助言をいただきながら、その知見を政策に活用するもの。

事業内容

1. 文化芸術をいかしたまちづくりへの助言
 - ・文化芸術基本計画策定等への助言
 - ・既存の各種事業に対する文化芸術的視点からの助言
2. 政策課題等への助言、意見交換
 - ・各部署が抱える政策課題等に対し、文化芸術的思考をいかした解決策の助言、意見交換
3. 職員の人材育成
 - ・文化芸術的思考で課題を解決していく職員を育成するため、東京藝大が実施する「DOOR」プログラムを受講

求める人物像

- 文化芸術に関する幅広い知見、実績を有する方
- 国等行政機関が実施する政策に関する知見、実績を有する方
- 文化芸術と社会を結びつけるノウハウや活動実績を有する方
- 地域課題を捉える広い視野を有し、解決に向けた具体的な助言が行える方

事業費積算

- ①報酬:1,200千円（非常勤で月1～2回の来熊の他、随時リモートでの相談等で様々な助言をいただく。）
- ②旅費:1,300千円
- ③研修委託料:2,200千円（リモート講義:職員20名、年10回程度/ワークショップ:年4回程度）

イメージ図

(仮称)文化顧問のイメージ(案)



職員研修



- ★政策立案における幅広い視野・柔軟な発想の育成

政策課題等への
助言・意見交換



- ★各部署が抱える政策課題
- ★まちづくりの取組

文化芸術基本計画等への助言



- ★文化芸術をいかしたまちづくり
- ★まちづくりの取組への助言やワークショップ